



いなぎ



ホームページ <http://www.city.inagi.tokyo.jp/>
携帯電話版 <http://www.city.inagi.tokyo.jp/i/>
(左のバーコードを読み取り機能付き携帯電話で読み取ってください)

市役所(代表) ☎042-378-2111
平尾出張所 ☎042-331-6346
若葉台出張所 ☎042-350-6321
開庁時間 午前8時30分～午後5時

長期総合計画
特集号

問い合わせ
企画部長長期総合計画担当

発行 東京都稲城市 編集 秘書広報課広報広聴係 〒206-8601 東京都稲城市東長沼2111 ☎042-378-2111 ☎042-377-4781

将来のまちづくり

新たな長期総合計画の策定を進めています

市では、より豊かな市民生活の実現を目指し、今後のまちづくりを総合的かつ計画的に進めるための指針となる新たな長期総合計画の策定作業を進めています。

策定にあたっては、市民会議や市民意識調査など様々な機会を通じて市民の皆さんのご意見やご提案を伺ってきました。

これまでの策定状況と市民意識調査、市民意見の状況をお知らせします。

なお、ここで紹介する内容は、審議会で審議するための原案ですので、最終の計画案ではありません。

将来人口

本市における過去の人口動態の傾向や開発状況などを考慮し、2020年の人口を9万2千人と推計しています。



稲城駅周辺

新たな長期総合計画の構成及び期間

長期総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の三層構造とします。

計画の構成



【基本構想】

将来都市像とまちづくりの基本目標を掲げ、それを実現するための基本的な方向性を定めます。

基本構想の期間は、2011年度(初年度)から、2020年代初頭までとします。

【基本計画】

基本構想に基づき展開する施策を体系的に定めます。また、施策の目標を定めます。

基本計画の期間は、2011年度からの10力年とします。

【実施計画】

施策の体系に即し、施策の目標を達成するための主要な事業の計画的な実施について定めます。

土地利用

地域の特徴を活かした調和のとれたまちづくり

市域は、おおむね多摩川や三沢川沿いの平坦地・三沢川左岸丘陵地・三沢川右岸丘陵地・平尾地区の4つの地域に大別できます。

これらの地域は、それぞれの地形やまちの発展過程が異なるため、それぞれの特徴を活かしながら、全体としてまとまりのある調和のとれたまちづくりを進めます。

また、これらの地域間における交流を深めるとともに、子どもからお年寄りまで住み慣れた地域でいきいきと暮らせる安全で快適なまちづくりを進めます。



桜が満開の三沢川

水と緑の体系を活かした魅力的なまちづくり



緑豊かな大丸用水

市域には、豊富な水と緑が残されています。市民生活にやすらぎと潤いを与える貴重な資源である水と緑を後世に伝えるため、まちづくりの中で活かしていきます。

基本的視点

本市は、市立病院、消防本部を設置しており、この面からは自立度が高い自治体であるといえます。また、人口減少社会にあって、人口が増加しており、高齢化率も低いという特長をもっています。



消防本部(消防出初式にて)

成熟社会に向けて発展していく過程にあって、これまでに築き上げてきた市民共有の財産を大切に、さらに地域にある資源を掘り起こして磨き、活用していくとともに新たな創造につなげていき、自主・自立の自治体経営を目指します。

将来都市像

多摩丘陵と多摩川の豊かな自然環境に囲まれた本市は、歴史や伝統に培われた文化を継承しつつ、都市施設の整備向上とともに発展してきました。

時代は過ぎても、変わらず人々に愛されてきたものがあります。先人が築き上げてきた有形無形の財産を継承しつつ、暮らしと自然が調和した都市空間の中で、そこに暮らす人々が多様な関係を築き相互に助け合いながら、自主性・自立性の高いまちを将来のあるべき姿として将来都市像を定めます。

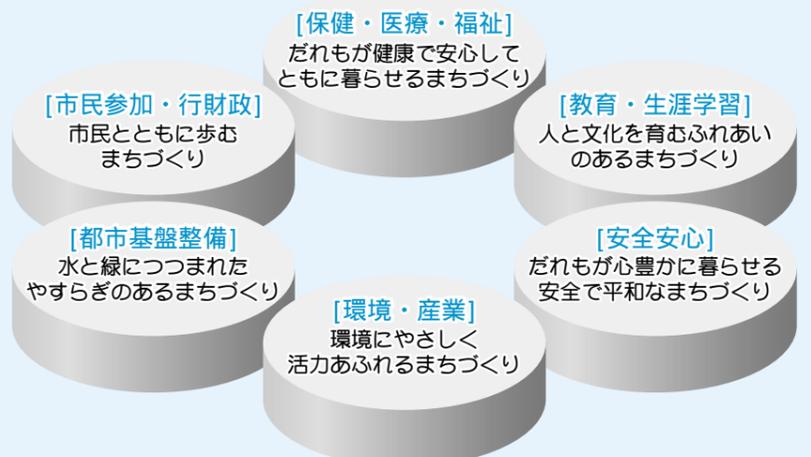


塞の神行事(坂浜地区)

将来都市像の実現に向けた

6つのまちづくりの基本目標

将来都市像の実現に向けて、次の6つのまちづくりの基本目標を定めます。



これまでに収集した 市民のご意見・ご提案

市の将来やまちづくりに関することについて、はがきやメール、懇談会などでいただいたご意見・ご提案などの概要は次のとおりです。

分野	ご意見・ご提案の紹介(概要)
保健・医療・福祉	少子化対策への重点的取り組み、高齢者対策の拡充 医療費負担の軽減と支援策、市立病院の安定経営 地域ケアの創出、福祉拠点の整備、福祉人材の確保 見守りネットワーク、NPO法人への支援 権利擁護機能の充実、無年金者への対応 高齢者住宅の確保、高齢者が外に出る機会の拡充 孤独死の防止、親の介護をする子ども世代への支援 障害者福祉の充実、子育て支援サービスの拡充 学童クラブの学校併設化、後期高齢者医療制度の撤廃
教育・生涯学習	学校図書館に司書を、給食費未納問題対策 長峰に児童館を、若葉台小学校のマンモス化の解消 学校間格差(設備など)の解消、南山スポーツ広場の代替施設を キャンプ場の恒久施設化を、文化活動の活性化 文化芸術の情報発信の充実 芸術文化活動にも「ボランティアポイント制」の導入を 稲城ロードレース大会のきちんとした運営を 中央公園野球場に夜間照明の設置を 体育協会事務所の独立と支援、室内プールの建設 総合体育館の大規模改修、体育施設の案内標識の設置 里山資料館の整備 計画的な体育施設の改修工事推進 障害者スポーツの推進
安全安心・環境・産業	農業の活性化、グリーンエネルギーに対する補助制度 公園に木陰を、長峰に小規模スーパーを 街路灯をLED照明へ、委託消防の方針を 市民交流による一体感の醸成 コミュニティづくりの形成 居住者名簿が作成できない状況の克服 ボランティアなどを行政の下請けにしない 平和事業の拡充、消防分団詰所の改善 消防操法練習場所の確保、消防署出張所の設置 消防団員確保のための支援、防災倉庫の適正配置 熱交換塗料の推進、京王よみうりランド駅前に買物施設を 自然環境の保全には系統的な施策が重要 自然を守るための希少生物の調査・保全活動の推進 産業振興の位置づけの明確化、商業環境の整備 工業地域の集約化、用水路の維持管理 地元産業の振興への支援、市民生活を守るための施策を
都市基盤整備	環境に配慮した開発、自転車で移動できる街に 坂浜平尾土地区画整理事業の推進 安心して通れる道路、鶴川街道の道路拡張 新市街地の開発よりも既存市街地の再開発を 交通改善(中央自動車道への乗り入れ、バスの増便) 南山開発反対、南山開発はより多くの緑地を残す努力を 南山の墓地を希望 若葉台～坂浜～南山ルート自然歩道の整備 どんな人にとっても住みやすく外出しやすい環境の整備 里山崩壊の中止 公営の公園墓地があればこの地にずっと住みたい お年寄りなどに優しいまちづくり 豊かな自然環境を生かしたまちづくり 緑地環境の維持政策の検討を、緑地の計画的な保全 公園と水による整備の推進 通学路に歩道設置を、用水路を使わない雨水排水計画 バスの活用と増便、バスルートの調査
その他	歩いて暮らせるまち 自然を大切に水と健康に寄与するまちづくり 背伸びしない確実な市政を 川崎市との協定により平尾に潤いを 教育・人材・経済・環境で成果を上げるための行政間の地域連携 ソフト面を中心としたまちづくりを 教育・人材・経済・環境についての自治体間協力 自然環境を重視した計画策定を 福祉を重視した総合計画を 協働の指針づくりとその具現化 総合計画策定の基本スタンスの明確化 市民参加から市民協働への発展を、市民参加の市政推進を 住民本位の行政(議会含む)

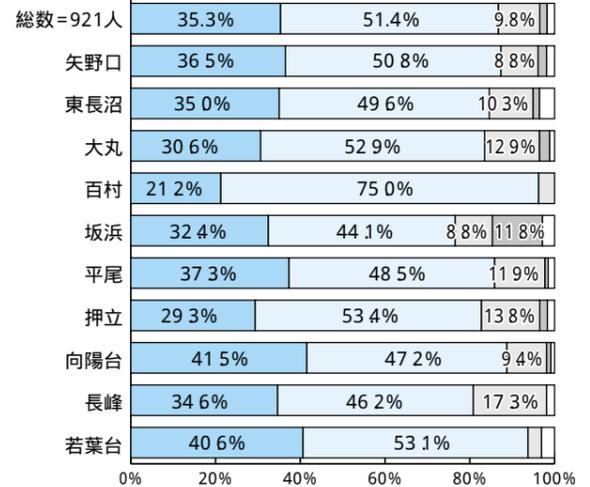
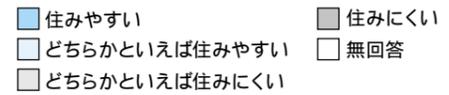
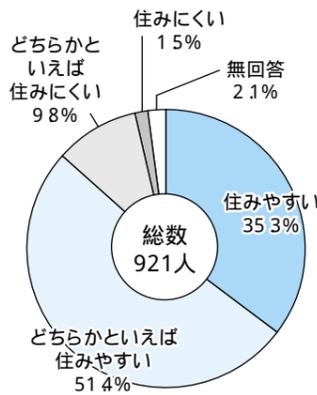
市民意識調査の結果

新たな長期総合計画の策定にあたり、市民の意向を把握するため、市民意識調査を行いました。その集計結果の一部をお知らせします。

なお市民意識調査報告書は、市ホームページまたは市内各図書館などでご覧になることができます。

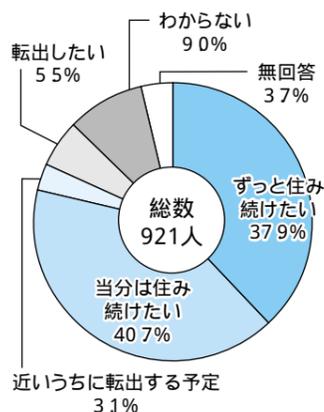
【住みやすさ】

「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と答えた人の合計は86.7%で、百村地区や若葉台地区では90%を超えました。

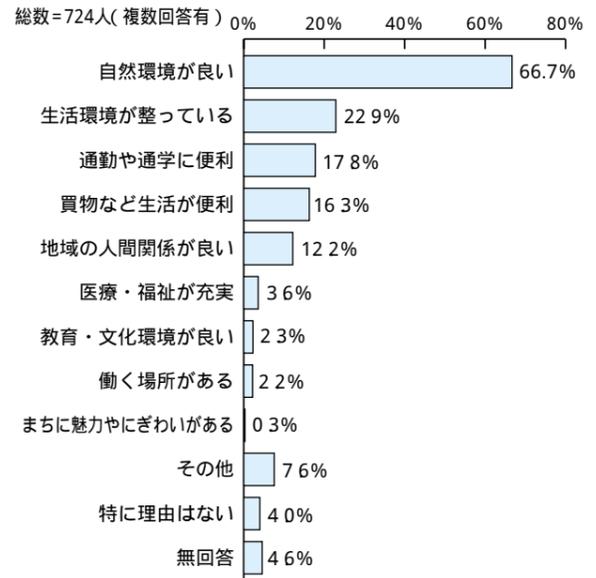


【今後の居住意向】

「ずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と答えた人の合計は78.6%(724人)で、「自然環境が良い」という理由が一番多くありました。

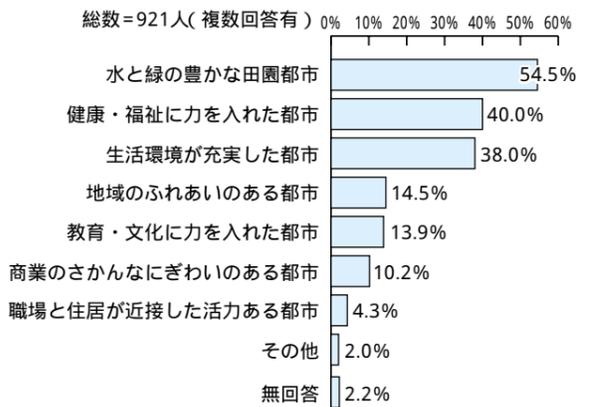


「住み続けたい」と答えた理由



【市の将来像のイメージ】

「水と緑の豊かな田園都市」「健康・福祉に力を入れた都市」「生活環境が充実した都市」が上位を占めました。



【進めるべきまちづくり】

「健康で安心して暮らせるおもいやりのあるまちづくり」「水と緑につつまれたやさらぎのあるまちづくり」「環境にやさしく安全で快適なまちづくり」「市民生活の活力を支えるにぎわいのあるまちづくり」が上位を占めました。

